

当院の施設基準等に係る掲示について

【情報通信機器を用いた診療】

情報通信機器を用いた診療の初診の場合には、向精神薬を処方いたしません。

【バイオ後続品使用体制加算】

バイオ後続品（バイオシミラー）の使用促進について

当院では、バイオ後続品を積極的に採用しております。バイオ後続品は先行バイオ医薬品と品質がほとんど同じで、同じ効果と安全性が確認された薬剤です。

（例：テリパラチドBS、インフリキシマブBS）

バイオ後続品を使用することによって、患者さんの薬にかかる経済的負担が軽くなります。当院ではバイオ後続品を使用することがありますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、主治医または薬剤師にご相談ください。

【一般名処方加算】

医療用医薬品の流通悪化により、医療機関及び薬局では医薬品等が供給不足になっております。処方内容について、一般名処方で行うことにより、保険薬局の対応性が向上し、安定的にお薬を提供できるようになります。当院では、日頃より一般名処方を推進しておりますが、医薬品の供給状況に応じて、銘柄名処方を一般名処方に変更させていただく場合がございます。

その際は、趣旨を含めた十分な説明を当院スタッフよりさせていただきます。

ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【後発医薬品使用体制加算】

医療用医薬品の流通悪化により、医療機関及び薬局では、医薬品等が供給不足になっております。当院では、後発医薬品の使用を推進し、可能な限り医療用医薬品の確保に努めてまいりますが、供給状況によっては、同様の効果を持った他の医薬品に変更させていただく場合があります。

その際は、担当のスタッフから、変更になるお薬内容について十分なお説明をさせていただきます。

ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【外来腫瘍化学療法診療料Ⅰ】

・専任の医師、看護師又は薬剤師が院内に常時 1 人以上配置され、本診療料を算定している患者さんから電話等による緊急の相談等 24 時間対応できる連絡体制を整備しております。

・急変時等の緊急時に入院できる体制を確保しております。

・実施される化学療法のレジメン（治療内容）の妥当性を評価し、承認する委員会を開催しております。

・患者さんと事業者が共同作成した勤務状況文書の提出があった際には、就労と療養に必要な情報を提供し、勤務環境変化に対応した療養上必要な指導を行います。

【協力対象施設入所者入院加算】

当院では介護保険施設等の協力医療機関として、当該介護保険施設等から 24 時間連絡を受け
る体制をとっております。また、緊急時に入院できる体制を確保しております。

当該介護保険施設等との入所者の診療情報及び緊急時の対応方針等の共有を図るため、連携
体制を構築している施設は下記のとおりです。

介護老人保健施設 もりよし荘

【院内トリアージ実施料】

夜間・休日または深夜において、受診された初診の患者さん（救急車での緊急に搬送された方は
除く）に対し、来院後速やかに緊急性について判断をし、診察の優先度を確認しております。診察の
順番は、来院された患者さんの緊急度や重症度によって決定いたしますので、場合によって待ち時間
が長くなる場合がありますがあらかじめご了承ください。

【歯科外来診療医療安全対策加算】

安全で良質な医療を提供し患者さんに安心して治療を受けていただくために、AED や救命救急
医薬品を備えており、また医療安全管理委員会を毎月開催し、医療事故防止体制について協議して
おります。なお、緊急時は救急外来と連携する体制を整えております。

2024 年 10 月
北秋田市民病院 院長